

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさごふれ愛の郷 YOU・愛センター		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 10日		～ 令和 7年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 22日		～ 令和 8年 1月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋数もあり広いホールやフェンス・門に囲われた園庭がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>その日の利用に応じた使い分けをしている。</li> <li>ホールの広さを活かし体を動かす活動に日々取り組んでいる。</li> <li>園庭で宝探し等のレク、鬼ごっこ、ボール遊び、虫捕り等、また春はお花見、夏は水遊び、冬は雪遊び等季節を感じる活動も取り入れている。</li> </ul>	今後も広い敷地を活かした楽しい活動の提供に努める。
2	自己決定できる場面や、卒業後の進路選択の幅が広がるような活動の提供を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者主体でスケジュールを決めたり、おやつを選択を通じてルールを守りながら自分で決める訓練を毎日行っている。</li> <li>近くのスーパーへおやつのお買い出しに出かけ買物訓練も行っている。</li> <li>軽作業やお手伝いの機会を設け、自立に向けた活動の提供にも取り組んでいる。</li> </ul>	外出の機会を増やし、社会性が身につく活動の提供を行う。
3	今年度より土曜日は閉所となったが、市内唯一祝祭日の開所は継続しており、利用者・家族のニーズに対応している。	急な利用・変更についても可能な限り対応している。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	昨年に続き、BCP・各種マニュアル作成、虐待防止委員会等、適正に実施しているが、周知できていない。支援プログラム公表もお伝えしたが同様。情報発信が少ない。	契約時に提示したりお伝えしているが、継続してお伝えできていない。日々の様子等の発信も連絡ノートや送迎時にお伝えする程度にとどまっている。	契約時だけでなく、面談の時等、年1回は提示して周知していく。法人のホームページの充実を図る。
2	敷地が広いので死角がでやすく、状況に応じて利用者の希望に沿えない時がある。	各部屋、園庭など活動場所が分散すると、配置職員だけでは見守りが不十分になってしまう。	活動内容を工夫し場所の分散を減らす。職員間の連携を密に行う。
3	職員の高齢化、人材育成。	年々厳しくなっており、研修の機会も変わらず少ない。	